

2026 年 8 月 7 日

株式会社サンリオエンターテイメント
株式会社 JERA Cross

サンリオエンターテイメントと **JERA Cross** による
太陽光発電に係る電力需給契約の締結について
～オフサイト型コーポレート **PPA** による再生可能エネルギー調達で
サンリオピューロランドの脱炭素化を推進～

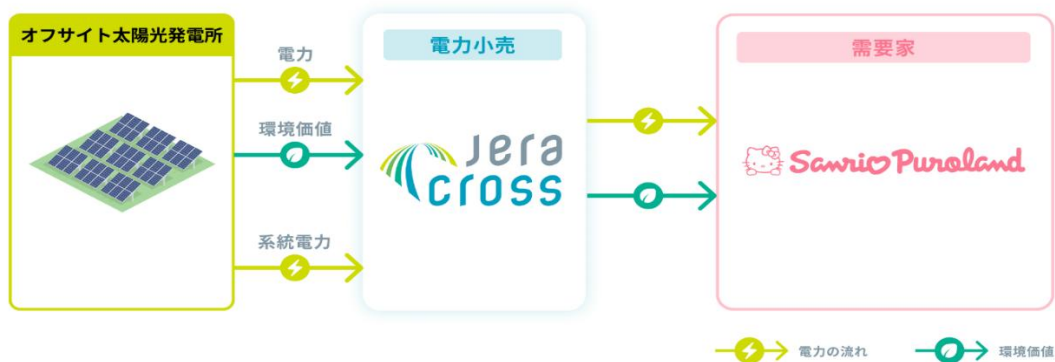
株式会社サンリオエンターテイメント（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：小巻 亜矢、以下「サンリオエンターテイメント」）および株式会社 **JERA** の子会社である株式会社 **JERA Cross**（本社：東京都中央区、代表取締役社長：一倉 健悟、以下「**JERA Cross**」）は、サンリオピューロランド（所在地：東京都多摩市）における再生可能エネルギー由来の電力調達を目的として、2026 年 3 月 31 日付でオフサイト型コーポレート **PPA**^{*1}を活用した太陽光発電由来の電力需給契約（以下、「本契約」）を締結しました。サンリオエンターテイメントは今後、**ESG** の環境領域においても注力していく予定であり、**JERA Cross** と連携して脱炭素施策のさらなる拡大を目指していきます。

本契約に基づき、2026 年 4 月 1 日以降、東京エリア^{*2}に新設している複数の太陽光発電所由来の電力を、**JERA Cross** がサンリオピューロランドへ供給しています。

サンリオピューロランドでは、年間約 200 万 kWh の太陽光発電由来の電力を調達する予定で、年間約 846 t-CO₂^{*3} の排出削減効果を見込んでいます。また、本契約を通じた太陽光調達単価を固定化することで、電力卸市場からの電力調達に伴う価格変動リスクを抑制するとともに、追加性^{*4}のある再生可能エネルギー由来の環境価値^{*5}を安定的に調達します。

なお、2026 年 4 月 1 日から 5 月 31 日までに、累計約 38 万 kWh の太陽光発電由来の電力を調達しており、約 160t-CO₂^{*6} の排出削減を見込んでいます。年間の調達予定に対し、運用開始から 4 か月の時点で計画通り調達が進んでおり、目標達成に向けて引き続き取り組みを進めてまいります。

サンリオエンターテイメントと **JERA Cross** は、本契約で得られた知見を活かし、幅広く脱炭素の取り組みを意識していただける施策の実施に向けて連携を深め、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



事業スキーム図



サンリオピューロランド（東京都多摩市）

© 1990 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No.P1804081

【株式会社サンリオエンターテイメント概要】

株式会社サンリオエンターテイメントは、サンリオピューロランド（東京都多摩市）とサンリオキャラクターパーク ハーモニーランド（大分県日出町）の2つのテーマパークを運営し、「みんななかよく」の企業理念のもと、コミュニケーションの楽しさや喜びを発信しています。従来の「テーマパーク運営」だけでなく、リアルな接点を中心とした「圧倒的な体験価値を創出するエンターテインメントラボ」としてのコンテンツを開発し、新たな価値を提供し続けています。

株式会社サンリオエンターテイメント：<https://www.sanrio-entertainment.co.jp/>

サンリオピューロランド公式サイト：<https://www.puroland.jp/>

【株式会社 JERA Cross 概要】

株式会社 JERA Cross は、企業の GX 実現に向けたワンストップパートナーとして、再生可能エネルギー導入支援、電力アグリゲーション、24/7 カーボンフリー電力^{※7}の提供など、包括的な脱炭素ソリューションを提供しています。親会社である株式会社 JERA は、「JERA ゼロエミッション 2050」のもと、再生可能エネルギーとゼロエミッション火力により、2050 年までに事業から排出される CO₂の実質ゼロを目指しています。

株式会社 JERA Cross : <https://www.jera-cross.com/>

- ※1 電力と環境価値を敷地外にある発電所から需要家に供給する仕組み
- ※2 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、栃木県、群馬県、茨城県、山梨県、静岡県（富士川以東）
- ※3 「想定削減量 約 846t-CO₂/年程度」の算定根拠：想定発電量 2,000,000kWh × 全国平均排出係数（2024 年度）0.000423t-CO₂/kWh
- ※4 新たに再生可能エネルギー発電設備を設置することで、再生可能エネルギーを拡大させること
- ※5 再生可能エネルギーなどが、環境負荷が抑えられている点について付加価値として有する価値。太陽光や風力などで作られた電気は、発電時に温室効果ガスである CO₂を排出しない電力であるため、エネルギーとしての価値に加えて、環境価値があると見なされる
- ※6 「想定削減量 約 160t-CO₂/年程度」の算定根拠：想定発電量 380,000kWh × 全国平均排出係数（2024 年度）0.000423t-CO₂/kWh
- ※7 「24/7 (twenty - four seven) カーボンフリー電力」は、毎日 24 時間・毎週 7 日間、すなわち年間 365 日にわたって CO₂を排出しない電力の名称。経済産業省の「電力の小売営業に関する指針」に従い、需要電力量の 100%について、CO₂ゼロエミッション電源（再生可能エネルギー発電設備・水素発電設備等を意味します）を電源構成とし、非化石証書の使用による環境価値をともに供給することを意味しており、燃料の製造・輸送等のライフサイクルを含めて CO₂が排出されないことを意味するものではありません

以 上